

グループ1

非常勤職員が参加できるまたは参加したくなる「施設内研修」のあり方

研究メンバー

繁友千尋・白石里沙・山本美佐（貴船園）・永住充至（松永医院）

1, 研究の背景と目的

近年、常勤職員（以下常勤）の減少に伴い非常勤職員（以下非常勤）の増加という社会的現象がみられているが、老人福祉施設でも同様である。非常勤は勤務形態が異なる以外、作業内容や利用者に行うケア内容に、常勤との大きな差異は見られない。「施設内研修」で施設の理念や役割を共通理解し、良質の介護サービスの提供ができる職員育成が図られる中、非常勤の「施設内研修」への参加が求められている。K園では「施設内研修」は自由参加としている。そのため、非常勤の参加は極少数である。なぜ、常勤に比べて非常勤の参加が少ないのか。非常勤の捉え方にあるのか、「施設内研修」（以下研修）の開催時間・研修内容・参加の呼びかけ等に参加を阻害するものがあるのかを知りたいと考え研究に取り組んだ。

2, 研究方法

①対象：K園に勤務する非常勤37名（特養・ショート部門・デイ・居宅部門）

常勤47名（上記同様）

②研究スケジュール：平成19年11月15日～12月15日 アンケート実施

平成19年12月16日～3月31日 アンケートの集計・分析・評価

③データ収集の方法

アンケート作成：調査実施者4名で、非常勤職員と常勤職員の違いは何か、研修参加の阻害要因になっていることは何かを絞って、アンケート項目を作成し調査。（アンケートを配布し、一人ずつ封筒にいれ回収する）

アンケート項目は、別紙のアンケート内容と集計結果を参照

④データ分析の方法

1. 収集したアンケートを、非常勤、常勤別に項目ごとにパーセンテージを出す。
2. 1のデータをもとにグラフ化する。

3, 結果

①回収率

常勤：抽出47標本 回収47標本（回収率100%）

非常勤：抽出37標本 回収24標本（回収率64.9%）

②常勤・非常勤の年齢・勤続年数について

* アンケート内容と集計結果資料Q1、2を参照

常勤：20歳代が多く、非常勤：40歳代が多い。

勤続年数：常勤・非常勤ともに1年以上～3年未満が半数近く占めている。

③お持ちになっている資格について

* アンケート内容と集計結果資料Q3を参照

* 非常勤はヘルパーと答えた人が19名であった

④研修があることをどうして知ったかということに関して

* アンケート内容と集計結果資料Q6を参照

非常勤はサービスステーション内の連絡箋と答えた人が17名, 常勤に勧められたと答えた人が9名であった。

⑤研修があることを知っていたかという問いに関して, 参加率について

* アンケート内容と集計結果資料Q5を参照

このことから, 常勤に比べ非常勤の参加率が低いことがわかる。

⑥どんな内容の研修に参加したかについて

* アンケート内容と集計結果資料Q7-Aを参照

常勤・非常勤ともに介護実技が1番である。

⑦研修に参加した動機, また参加できなかった理由

	常勤	(%)	非常勤	(%)
スキルアップ目的・	27名	73.0%	9名	90.0%
・興味を持てた	20名	54.1%	2名	20.0%
・誘われたから	4名	10.8%	3名	30.0%
・時間帯が良かった	19名	51.4%	3名	30.0%
・「職員」だから	20名	54.1%		
・欠席できない雰囲気	2名	5.4%		

参加した動機については, 常勤・非常勤ともにスキルアップができると思ったからという意見が多かった。参加できなかった理由

	非常勤	(%)
・研修をしらなかった	3名	21.4%
・時間帯が悪かった	5名	35.7%
・自分は対象外と思った	2名	14.3%
・興味をもてなかった	0名	0%
・一緒に行く人が居ない	0名	0%
・常勤が多すぎ	1名	7.1%
・無回答	5名	35.7%

由においては, 常勤は回答が得られなかった。

非常勤は, 行くことが難しい時間帯だったという理由が多かった。

⑧研修に参加し易い曜日・時間帯について

	常勤	(%)	非常勤	(%)		常勤	(%)	非常勤	(%)
・平日	31名	66.0%	13名	54.2%	・午前中	9名	19.1%	5名	20.8%

・土・日	3名	6.4%	2名	8.3%	・午後	5名	10.6%	5名	20.8%
・無効	2名	4.3%	1名	4.2%	・夕方	12名	25.5%	5名	20.8%
・無回答	11名	23.4%	8名	33.3%	・19時以降	21名	44.7%	3名	12.5%
					・無回答	8名	17.0%	10名	41.7%

常勤・非常勤ともに平日という回答が多かった。

時間帯においては、常勤は19時以降、非常勤は午前中・午後・夕方という意見が同数で多かった。

⑨日時に都合が付いた場合の参加意欲について

仕事が終わった後には？・・・

仕事

休みの日には？・・・

	(常勤)	(%)	(非常勤)	(%)	常勤	(%)	非常勤	(%)
・参加する	26名	55.3%	5名	20.8%	13名	27.7%	4名	16.7%
・内容によっては参加	18名	38.3%	17名	70.8%	27名	57.5%	16名	66.7%
・参加したくない	1名	2.1%	2名	8.3%	6名	12.8%	4名	16.7%
・無効	1名	2.1%			1名	2.1%		
・無回答	1名	2.1%						

内容さえ興味があるものなら参加するとの回答が半数以上を占め、内容選択が重要である。

⑩研修に参加しやすい開催方法

	(常勤)	(%)	(非常勤)	(%)
・非常勤のみの研修			4名	16.7%
・研修時間の短縮	25名	53.2%	10名	41.7%
・同じ研修を複数回	9名	19.1%	5名	20.8%
・参加を勧めて欲しい	3名	6.4%	1名	4.2%
・事前に内容を詳しく伝達して欲しい	18名	38.3%	8名	33.3%
・基本的でわかり易い内容にして欲しい	15名	31.9%	11名	45.8%
・無回答	4名	8.5%	2名	8.3%

常勤・非常勤ともに研修時間を1時間程度にするという意見が多かった。また、基本的で分かりやすい内容という意見も次に多かった。

⑪研修の開催方法等、受けてみたいもしくは興味のある研修について

* アンケート内容と集計結果資料Q14を参照

受けてみたいもしくは興味のある研修については、常勤の認知症に関する研修が目立つものの、続いて介護技術、疾病と常勤・非常勤と大きな差異は見られない。

4, 考察 5, 結論

今回、研究を始める前に仮説として非常勤職員の研修の捉え方や、参加しやすい環境を知ることができる。阻害要因に関して、改善や調整を行うことにより、非常勤の参加率が向上し、質の確保・より質の高いサービスの提供ができるとあげていた。

非常勤の研修の捉え方として、スキルアップを期待し研修に臨んでいるということが分かった。また、参加できない理由として、行くことが難しい時間帯であるという意見が多かった。これはK園の非常勤職員勤務時間帯が午前、午後と別れていることが要因としても考えられる。このことをふまえて、何回かに分けて研修を行うこと。また、休みでも内容がよければ参加すると答えた人も多かったこと、研修の内容としては、介護実技・記録といった日々の業務に一番関わっていく内容が多かったということ踏まえたうえで研修内容等を設定していく必要があると考える。仕事が休みだからといったことや、勤務だからといったことは研修に参加する、しないに関係なかったということから今後は皆さんが臨んでいる研修内容を計画することが参加率をあげるための一つの方法になるのではないかと思う。

さらに、非常勤はヘルパー2級以上の取得者の人が多いことから、研修ではヘルパー2級取得者のスキルアップできる研修を行っていくことが効率よく、参加者のやる気も引き伸ばすことができるのではないかと考える。

周知の方法としては、連絡箋にあわせ常勤が勧誘する際に、詳しく研修内容を伝達する必要があると考える。今後は、このようなことを考え、研修を企画していくことで参加率も向上し質の確保やより質の高いサービスが提供できるようになっていくのではないかと考える。具体的には、

- ①平日の午前・午後に分け最低2回程度同じ内容の研修を開催する。
- ②非常勤だけの研修。
- ③研修時間は、1時間程度のものとし内容はヘルパー2級以上取得に役立つ、基本的で分かりやすい内容にする。
- ④研修内容は、介護実技・記録等業務に日々関わること（アンケート結果の受けてみたいもしくは興味のある研修から順位度の高いものからプログラム）を設定する。
- ⑤周知の方法としては、連絡箋と常勤の研修参加のための勧誘を事前に分かりやすく行う。以上の事がK園に限りであるが、非常勤職員が参加できる、またはしたくなる「施設内研修」のあり方であると結論づける。

6, 謝辞

今回、介護研究に関しまして丁寧なご指導・助言を頂きました矢原先生、このような貴重な機会を与えて下さいました山口県介護福祉士会会長鳥居会長をはじめ事務局の皆様。ま

た, アンケートにご協力して下さいました職員の皆様にこの場をかりましてお礼を申し上げます。

7, 引用・参考文献

*参考文献・はじめての介護研究マニュアルーアイデアから研究発表までー

著者：矢原 隆行：発行所：株式会社 保育社